

分野連携企画報告書

行事（企画）名：シンポジウム：スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2023における学会横断テーマOS「少子高齢化社会を支えるスポーツ・バイオ・ロボメカ技術」

行事URL：<https://www.jsme.or.jp/conference/shdconf23/>

1.開催日・会場

2023年11月11日（土）9:00～12:00・名城大学 天白キャンパス

3.企画内容

本企画は、学会横断テーマの中でも特にSHD、BE、RM部門との関連が深いと考えられる、「少子高齢化社会を支える革新技術の提案」に関する三部門における取り組みに講演発表および議論の場を与え、本テーマの加速的発展に資することを目的としています。本企画は、2021年より継続開催している、SHD・BE部門の部門講演会内共催OSの交互開催をさらに発展させ、これまでRM部門講演会内で継続してきたRM・SHD共催OSをも統合し、初の三部門の共催とするもので、具体的には1件の基調講演および一般講演からなります。

4.連携の成果

本OSには4件の一般講演発表があり、活発な議論が交わされました。また名城大学の金子真教授による「Beyond Human Technologyが拓くバイオ医療研究の新世界」と題する基調講演が行われました。本基調講演は部門の特別講演も兼ねてその時間はシングルセッションとしたため、講演会全参加者が聴講でき、大変な好評を博しました。

2.企画部門

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス(SHD)部門
バイオエンジニアリング(BE)部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

3部門の共催ということで、基調講演としてふさわしい方を探すのに苦労しましたが、今回基調講演をお願いした金子先生は、ロボットの技術を医療などに応用する、まさに3部門の分野にまたがるご研究をされておられ、かつ会場名城大学のご所属ということで、うってつけの先生が見つかって大変良かったです。実際、基調講演はほぼ全参加者が聴講し、講演後の質問も途切れることなく続き、大変な盛況を博しました。課題としては、一般講演の件数がそれほど多くなかったことが挙げられます。今後、SHD部門外の方をより取り込めるよう、より効果的な周知方法などを検討したいと思います。